

ICTを活用した 実践的な教員研修

障害特性に応じたICT活用

- 聞こえにくさ
 - FM補聴器システム
- 身体の動きの困難さ
 - スイッチなど入力支援機器
- 読み書きの困難さ
 - タブレットPCの学習支援アプリ

タブレットPCと電子黒板を つなぐ「双方向配信システム」

- 教師用PCからタブレットPCに電子データを一斉配信できます。
- 全てのタブレットPCのデータを電子黒板上に分割画面で表示して情報共有できます。

教室



※教室は、小学校の通常の学級を想定しています。



観察室

※観察室は、教室と可動式の壁(格納可能)で仕切られています。

「映像配信システム」を 活用した授業研究

- 観察室のディスプレイには、教室での模擬授業の様子が映像配信されます。
- 教室内のカメラは遠隔操作ができます。
- ウェアラブルカメラを利用することで教師の視線で模擬授業を観察できます。
- 模擬授業の様子を録画し、それを活用してディスカッションやグループワークを行うことができます。

障害のある子どもの
教育的ニーズに応じて

ICTを活用した指導の充実・普及を目指します

Q.どのような研修で活用しているのですか？

国立特別支援教育総合研究所（NISE）では、各都道府県等における特別支援教育政策や教育研究及び教育実践等の推進に寄与する指導者の養成を目的とした研修事業を行っています。

○特別支援教育専門研修（年3回、各2ヶ月間）

障害種別に設けられた各専修プログラムにおいて、それぞれの障害特性に応じたICT活用に関する講義を設定しており、ICT活用実践演習室を利用することで研修効果の向上を図ります。

例えば、視覚障害教育専修プログラムでは「視覚障害と支援機器」、聴覚障害教育専修プログラムでは「聴覚障害教育のICT活用と情報モラル」、知的障害教育専修プログラムでは「知的障害や自閉症のある子供の教材教具の工夫」など、様々な講義で本研修室を活用しています。

○インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会（年4回、各2日間）

平成28年度は、4つある協議会のうち、「特別支援教育におけるICT活用に関する指導者研究協議会」において、ICT活用実践演習室を利用したワークショップを取り入れた研修を行う予定です。



Q.上記研修の期間外に見学することはできますか？

○見学について

国立特別支援教育総合研究所（NISE）では、特別支援教育に関する研究の振興・普及・充実に寄与するため、関係機関等の研修・見学先として、多くの方々に来所いただいています。ICT活用実践演習室も見学することが可能です。原則として、木曜日と金曜日が見学日となります。見学に当たっては、事前に「施設見学申込書」の提出が必要となります。詳しくは、こちらのページ（本研究所HP）でご確認ください。

<http://www.nise.go.jp/cms/6,0,29,228.html>

